令和６年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した実践」

蓮田市教育委員会・蓮田市立蓮田北小学校

事例１

〇教科名　生活科

〇単元名　「ありがとうがいっぱい」１学年

〇身に付けたい力

・大型テレビを使って家庭でのお手伝いを振り返ると共に、他の児童のお手伝いの様子を知り、家の仕事に関心をもつこと。

・家の仕事を調べたり挑戦したりした様子を、動画を併用して言葉で伝えること。

〇取組の工夫

・あらかじめ児童から集めておいたお手伝いの内容を担任が大型テレビに映し、クラスで共有した。

・保護者の協力のもと、お手伝いの実践を家庭で撮影していただいた。この動画をグループ内の報告で用いて、発表を聞いている児童も、話だけでなく動画でもお手伝いの内容を理解することができた。

事例２

〇教科名　理科

〇単元名　「風のはたらき」３学年

〇身に付けたい力

・他の班の結果をリアルタイムで共有し、実験の検証に生かすこと。

・風の強さを変えて風車を動かした様子を動画で比較して考察し、自分の考えを表現すること。

・風の力の働きについてスタディ・ログを蓄積し、生活に生かそうとすること。

〇取組の工夫

・実験結果を班ごとに Excel ファイルに入力し、Microsoft Teams で共有したことで、著しく結果が異なっていた班が再実験して検証することができた。

・実験結果を、Excel を使ってグラフに表したことで、強い風を風車に当てると物を持ち上げる力が高まることを、視覚的に分かりやすく理解することができた。

・QR コードを読み取っていつでも実験手順を確認することができるようにし、どの児童も正しく安全に実験をすることができた。

事例３

〇教科名　総合的な学習の時間
〇単元名　「優しさを広げよう」４学年
〇身に付けたい力
・福祉活動やユニバーサルデザインについて、Microsoft Forms を使用して同じような興味をもった仲間にグループ分けし、自ら課題を設定して調べること。
・自ら設定した課題について調べたことを PowerPoint でまとめ、Microsoft Teams を使って共有し、友達とアドバイスをし合いながらまとめ方や表現方法を工夫すること。
〇取組の工夫
・一人一人が調べ学習の課題を設定する際に、体験活動や施設との交流後に Microsoft Forms を使用し、興味をもったことについてアンケートを取った。集計結果をもとにグループを作って調べ学習を進めた。
・調べたことについて、PowerPoint を使ってまとめ、クラスで発表した。作成途中の PowerPoint は、友達も見られるようにし、アドバイスをし合いながら学習を進めることができた。

事例４

〇教科名　算数
〇単元名　「面積の求め方を考えよう」５学年
〇身に付けたい力
・デジタル教科書を使って図形を操作し、いろいろな面積の求め方を考えること。
・大型テレビを使って自分の考えを説明し、他の児童と多面的に求め方を検討し表現すること。
〇取組の工夫
・デジタル教科書を活用して、平行四辺形などの図形を切ったり動かしたりして画面上で操作することで、面積の求め方を考える際に役立てることができた。
・平行四辺形などの図形の求め方をグループや全体で発表し合う場面で、大型テレビにデジタル教科書のシミュレーション機能を表示し、画面上で操作しながら分かりやすく説明することができた。